



こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 5371-9164 自宅 5(FAX 兼用) 6 9 1 - 3 3 2 3
日本共産党京都市議員団 5 2 2 2 - 3 7 2 8 FAX 211-2130 '17年 2月 19日号
市議員団ホームページ <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/cpgkyoto/> E-mail cpgkyoto@mbox.kyoto-inet.or.jp

相も変わらぬ「財政危機」にウンザリ

公務の民間化で自治体の役割を放棄
介護をはじめ福祉・医療の切り捨て
子どもはあくまでも「お客さん」
「文化力」って何だ!?

市長が来年度市予算案を提案

15日、市長が、議会に対し、来年度京都市予算案を提案しました。十年一日の如く、口を開けば「財政危機」の連発で、市民向け事業を48億円も「見直し」の方針です。南区上鳥羽にある山ノ本保育所など市立市営保育所を民間に移管、家庭動物相談所ドッグランや、中央斎場等の使用料の

値上げ（これでは死ぬに死ねない）、更に、一層の職員削減と公務の民間化を打ち出しています。「子ども育み局」を新設することですが、市長によれば、子どもはあくまでも目的語であり育まれる対象であって、決して主語でもなければ権利の主体でもありません。子ども

どもの権利条約の意義が全く理解できていないと言うほかありません。介護保険も、4月以降、要支援1・2の人たちへのヘルパー派遣とデイサービスが後退します。従来の市民力とか地域力等の言葉に、今回

後期高齢者医療の保険料が値上げ

10日、75歳以上の高齢者を対象とする京都府後期高齢者医療広域連合の議会が開かれ、来年度、保険料の軽減率が改悪されることが決められました。従来、職域保険の被

は「文化力」とやらが加わっています。相変わらずこれも意味不明で、市民をケムにまわすものです。予算案の他、諸条例改正案等は、22日から開会の予算議会に採決の予定です。



年金受給資格期間短縮が実現

国会で、年金受給資格期間が、従来の、原則25年から10年に短縮され、10～24年間掛けてきたのに受給資格がなかった人が、今回新たに資格を得、受給できることになりました。半歩だけ前進です。

国が把握している該当者には、2月下旬から順次、案内が郵送され、3月から請求が受けられます（該当者でも請求しないと支給されません）。9月分からの支給ですから、10月から振り込まれます。該当するはずなのに案内状が届かない場合など、詳細は井上議員迄。

老齢国民年金は満額でも僅か月6万円余。これでは生活できません。資格期間も10年でも未だ長すぎます。本来なら1ヶ月でも保険料を納めれば、額はともかく、資格があるべきです。というより、日本共産党は、無拠出（保険料を納めなくてもよい）でも一定額の最低年金を保障すべきと考えます（写真は、倉林明子参院議員らと一緒に、年金事務所と懇談：2/10）。



南区生健会新春の集い(2/4)

5均ため合国きまきめ保強後扶
割者等た言言了保険制期養
から者の均た言言了保険制期養
2割の者が均た言言了保険制期養
に所得7割が均た言言了保険制期養
なる所得割へ、また低減だっ
る所得割へ、また低減だっ
な所得割へ、また低減だっ

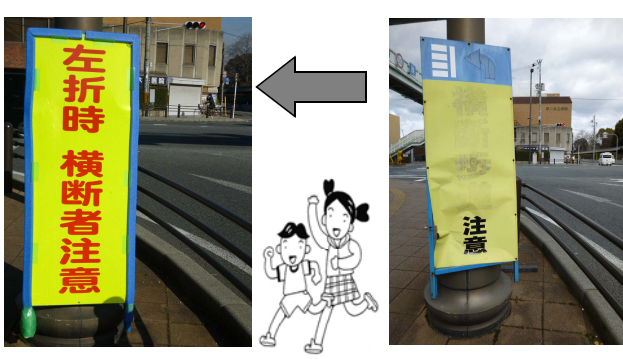
市民の命とくらし、京都の良さを守る市政を
市政報告懇談会
2/24(金) PM 7:00 ~ 8:50
● 社会福祉会館 3階第5会議室 (二条城北)

- ◆ 2017年度京都市予算案の特徴と予算委員会にあたっての党議員団の報告
- ◆ 懇談・意見交流 ◆ その他

2017年度京都市予算案は、2月15日に発表され、22日から8日までの7日間で議論されます。京都市は、国の要請をそのままとし、市民のくらし、福祉、水・エネルギー、再開発のための規制緩和をすすめています。また、民間の命名権制度など「聞く耳を持たない」姿勢がますます明らかになっています。リストアップした「市民サービス」の削減や「京都市」の民間化、市民のくらしを脅かす人々とともに、共同を打ち上げ、全力で奮闘する決意です。つきましては、京都市の2017年度予算案について、その内容を掲載するのと同時に、みなさまからのご意見、ご要望をお聞かせいただき、反映をさせていただきます。ぜひご参加ください。

主催：日本共産党京都市議員団(連絡先) TEL / 075-222-3728

ど、人によつては値上がりになります。



京阪国道口の交通安全看板が改善

市民の方からの通報により、薄くなつて字が読めなくなつていた看板の書き換えが実現しました（京阪国道口南西角）。